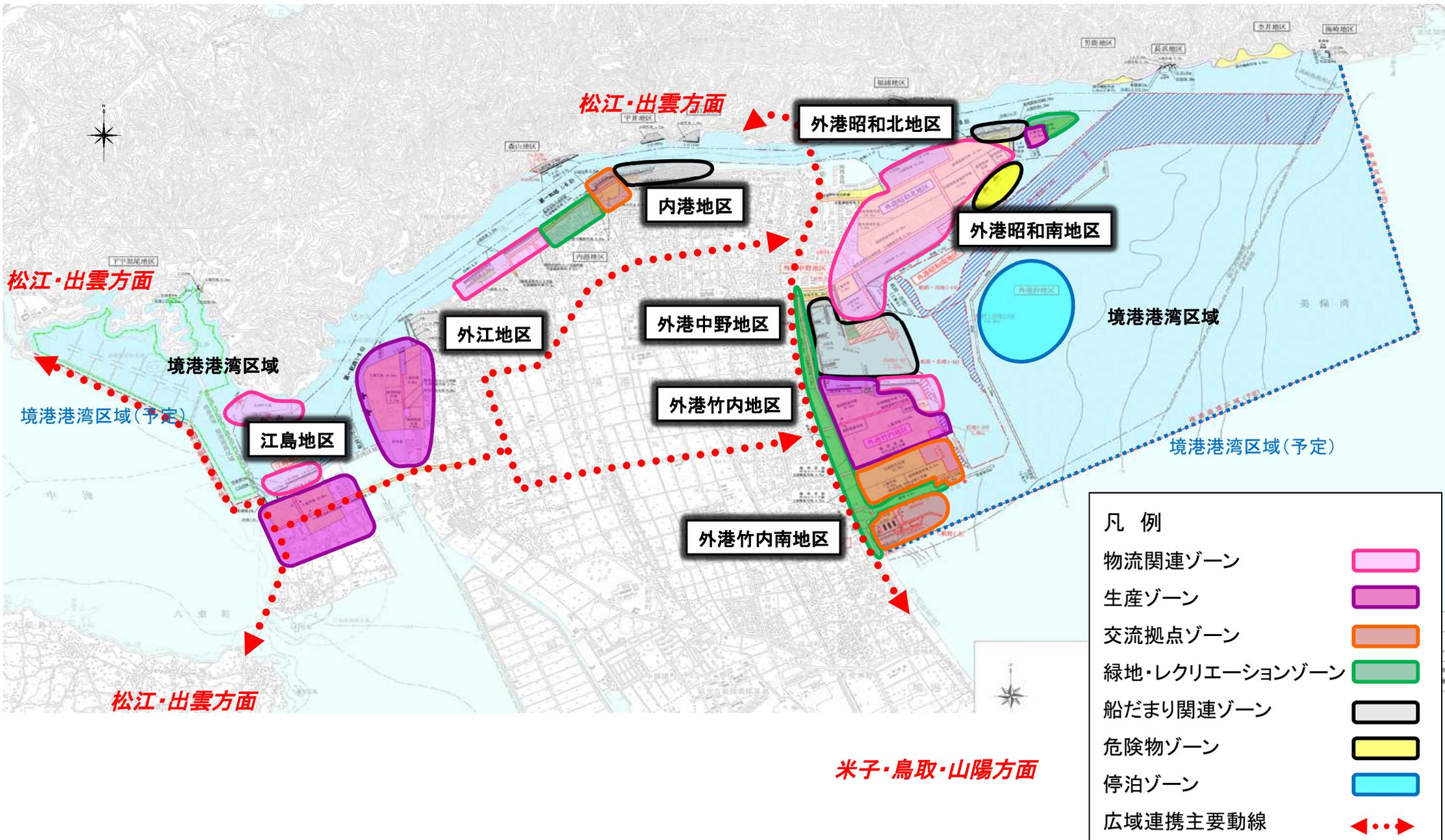


序章	長期構想委員会の概要
第1章	港湾及び背後地域の現況
第2章	目指すべき方向性
第3章	港湾への要請と課題
第4章	境港が今後担うべき役割
第5章	境港の長期構想における施策の展開方向
第6章	<b>将来の空間利用計画</b>

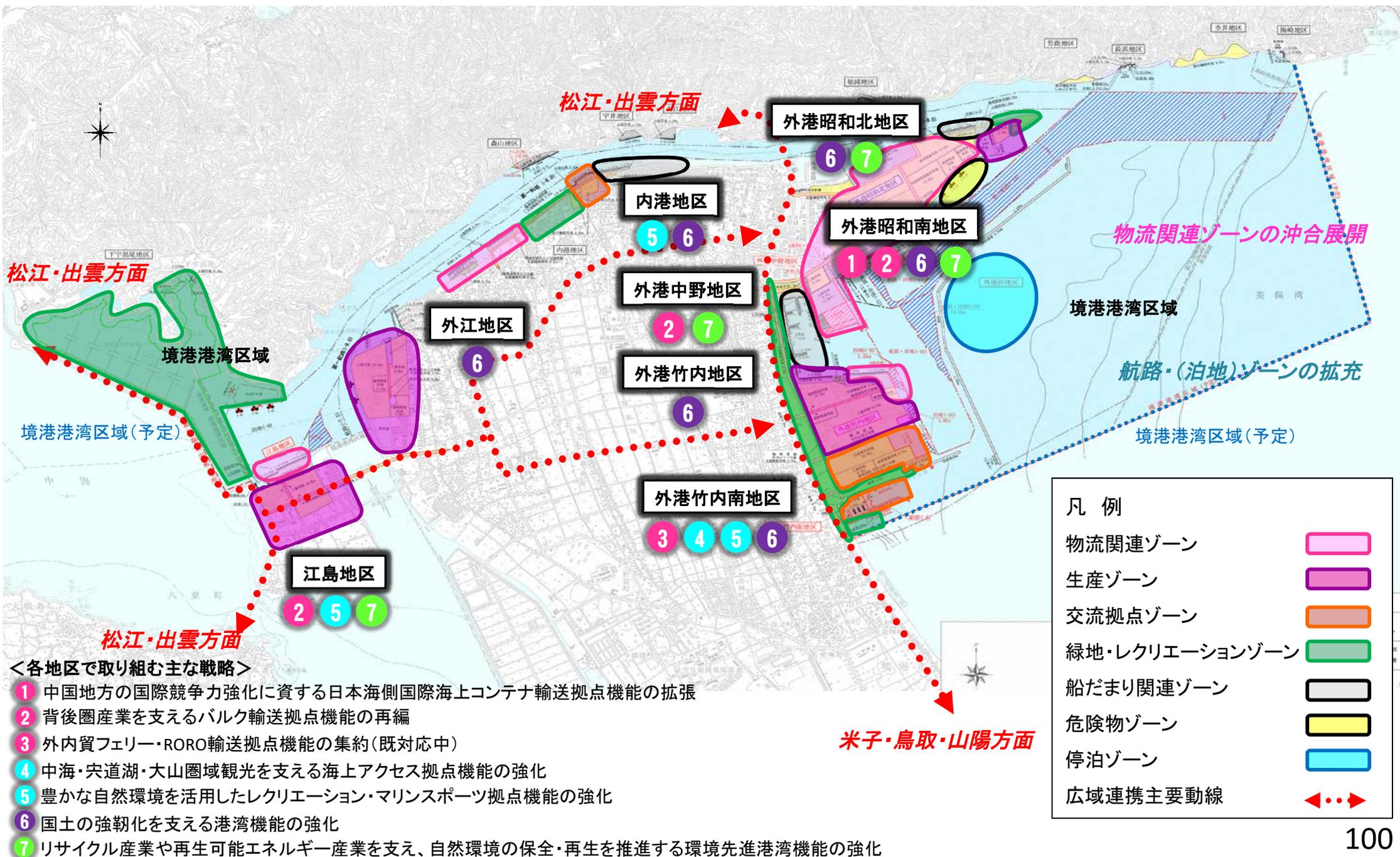
# 現行の利用ゾーニング図



凡例	
物流関連ゾーン	
生産ゾーン	
交流拠点ゾーン	
緑地・レクリエーションゾーン	
船だまり関連ゾーン	
危険物ゾーン	
停泊ゾーン	
広域連携主要動線	

出典：境港港湾計画図（H28.3）、境港港湾計画資料（その1）—改訂—（H17.6）より作成

# 将来の空間利用：ゾーニング全体図



# 将来の空間利用：外港昭和南地区

## 戦略1

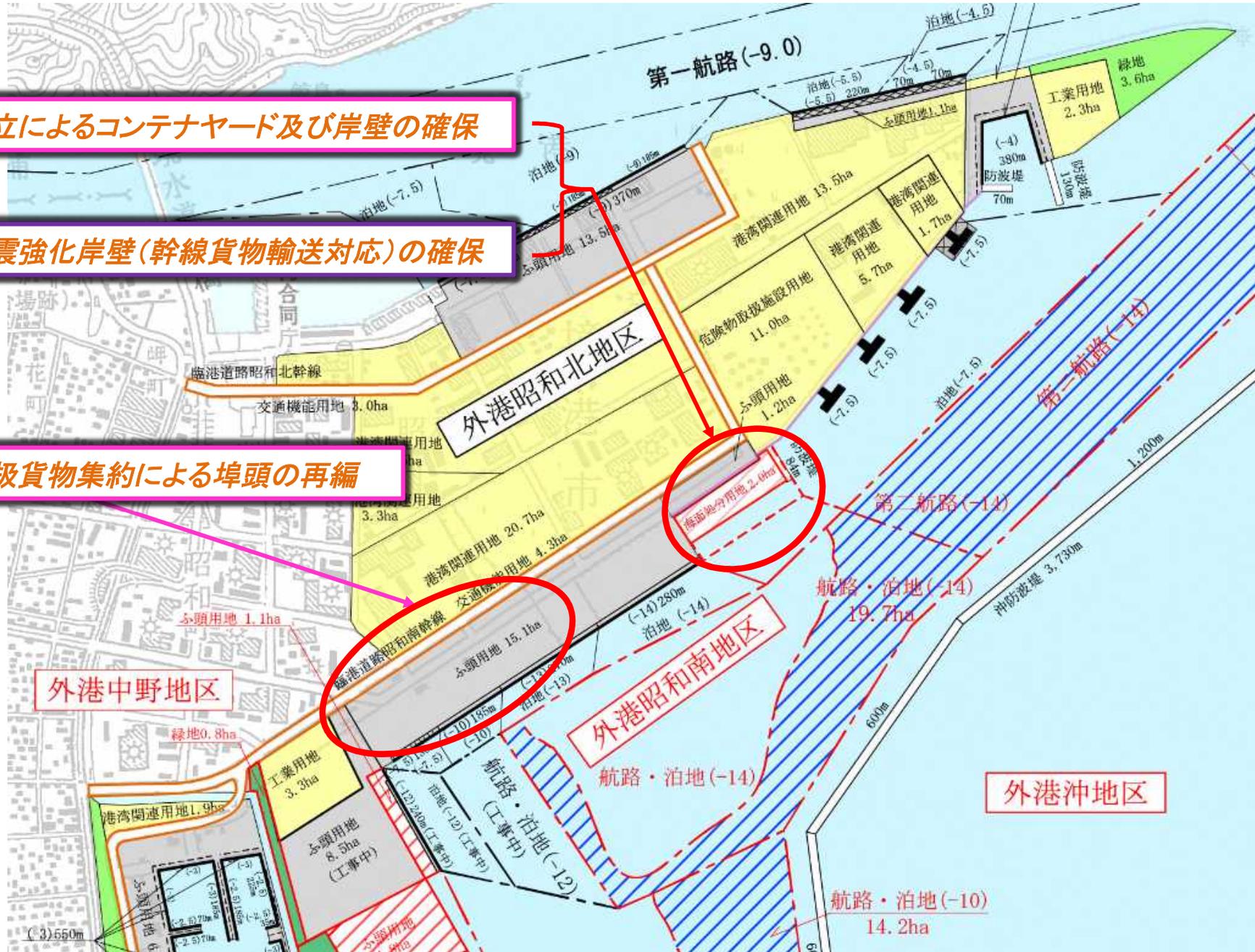
■中期：埋立によるコンテナヤード及び岸壁の確保

## 戦略6

■中期：耐震強化岸壁（幹線貨物輸送対応）の確保

## 戦略2

■中期：取扱貨物集約による埠頭の再編



# 将来の空間利用：外港竹内南地区

## 戦略3

■短期：フェリー・RORO貨物取扱機能の拡充  
(DBSクルーズフェリーの移転・集約)

## 戦略4

■中期：クルーズ船受入機能の拡充

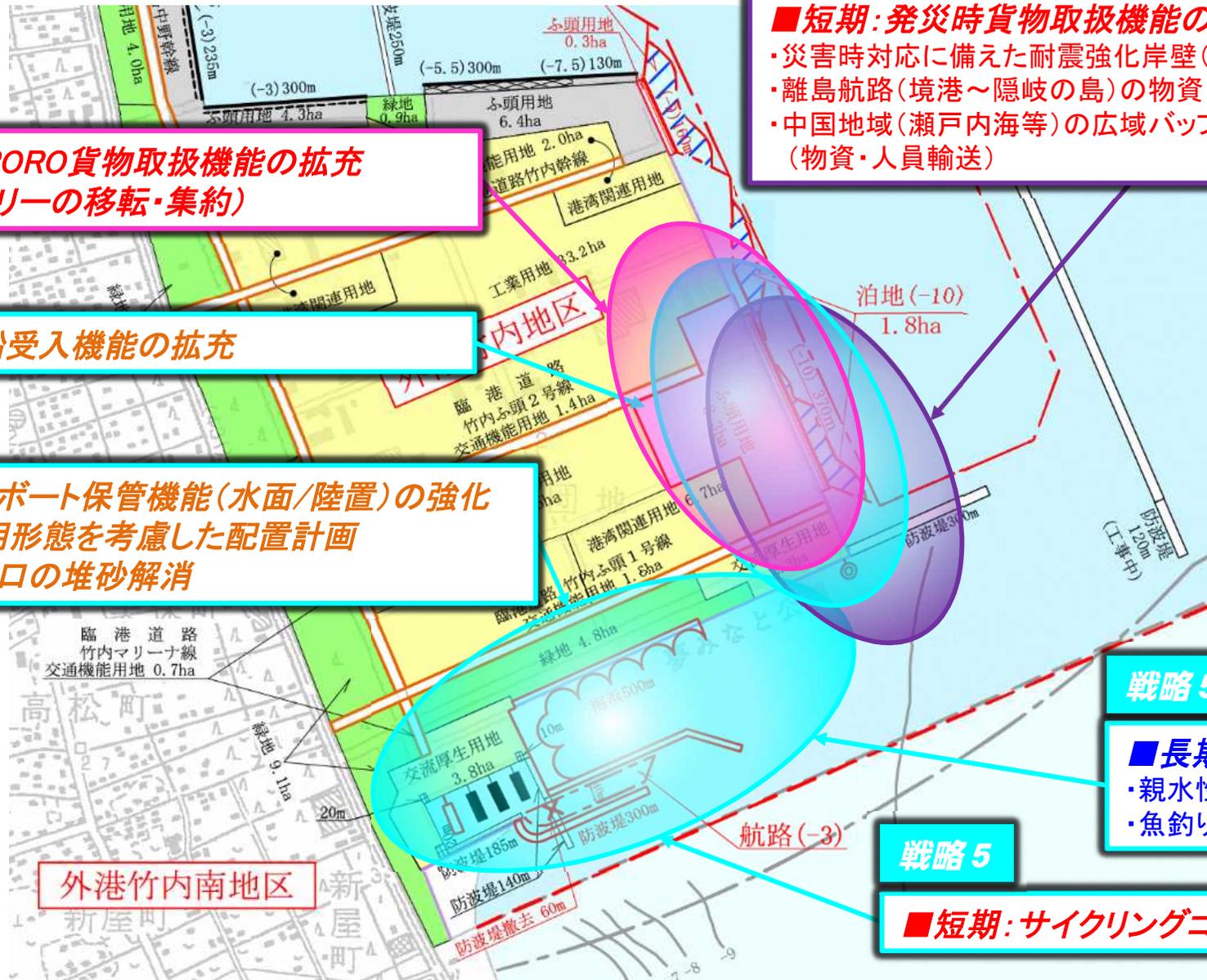
## 戦略5

■中期：プレジャーボート保管機能(水面/陸置)の強化  
艇種別利用形態を考慮した配置計画  
マリーナ港口の堆砂解消

## 戦略6

■短期：発災時貨物取扱機能の確保

- ・災害時対応に備えた耐震強化岸壁(幹線貨物輸送)
- ・離島航路(境港～隠岐の島)の物資・人員輸送ルートの維持
- ・中国地域(瀬戸内海等)の広域バップアップ体制に対応(物資・人員輸送)



## 戦略5

■長期：海浜の造成

- ・親水性のある海浜確保
- ・魚釣り施設の整備

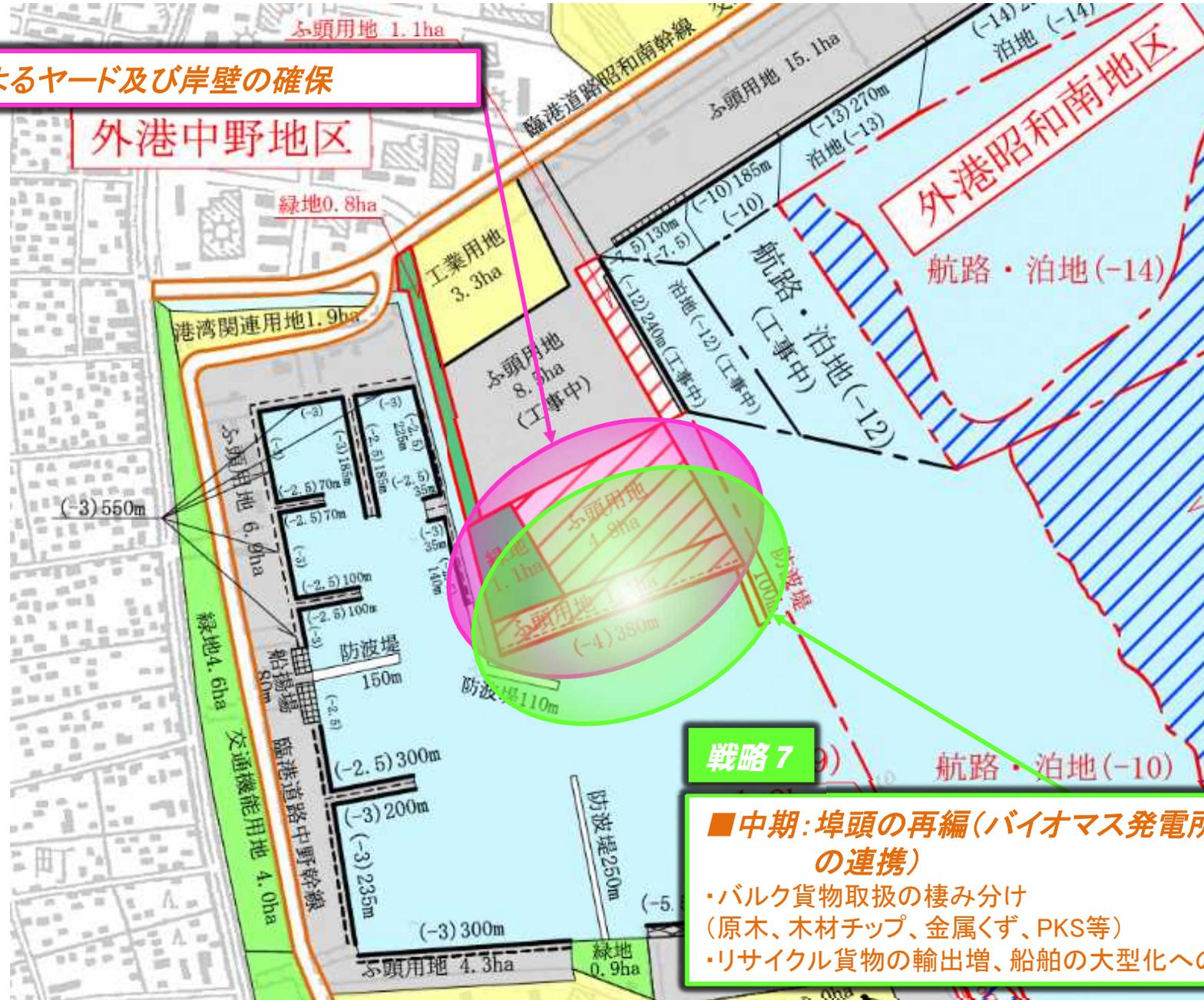
## 戦略5

■短期：サイクリングコースの有効活用

# 将来の空間利用：外港中野地区

## 戦略2

■中期：埋立によるヤード及び岸壁の確保



## 戦略7

■中期：埠頭の再編(バイオマス発電所新規建築計画との連携)

- ・バルク貨物取扱の棲み分け(原木、木材チップ、金属くず、PKS等)
- ・リサイクル貨物の輸出増、船舶の大型化への対応





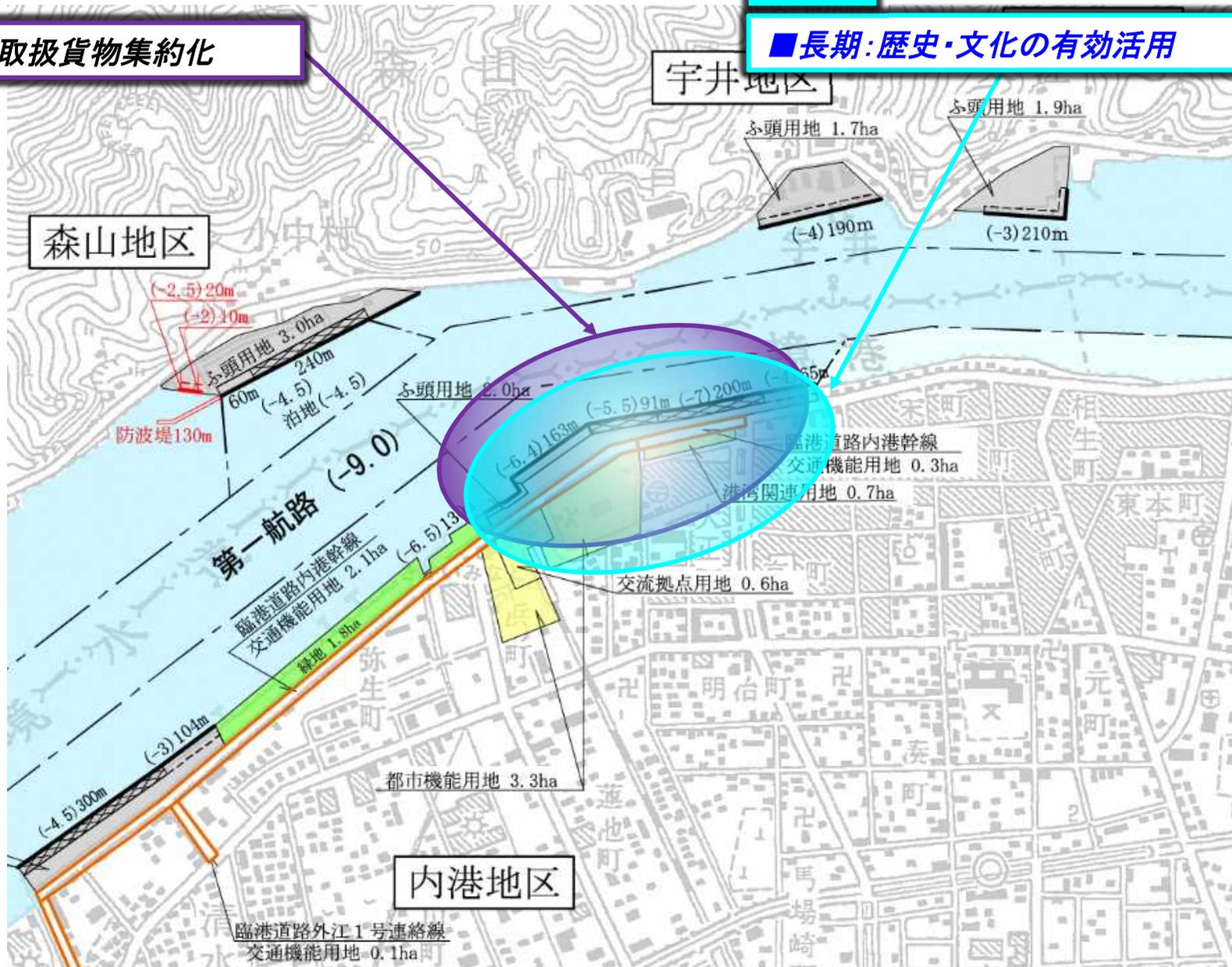
# 将来の空間利用：内港地区

## 戦略6

■ 継続・持続：取扱貨物集約化

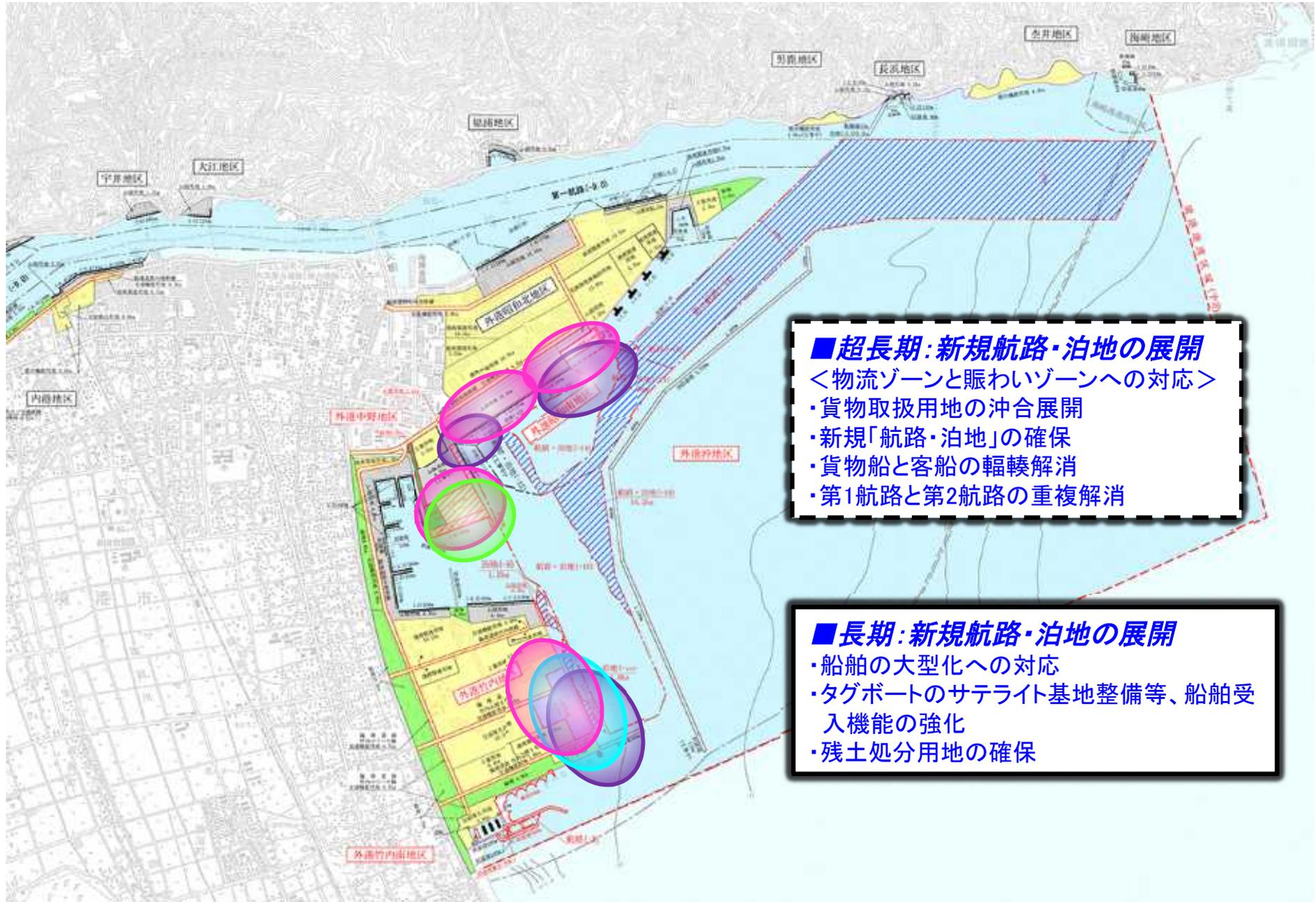
## 戦略5

■ 長期：歴史・文化の有効活用





# 将来の空間利用：外港地区



## ■超長期：新規航路・泊地の展開

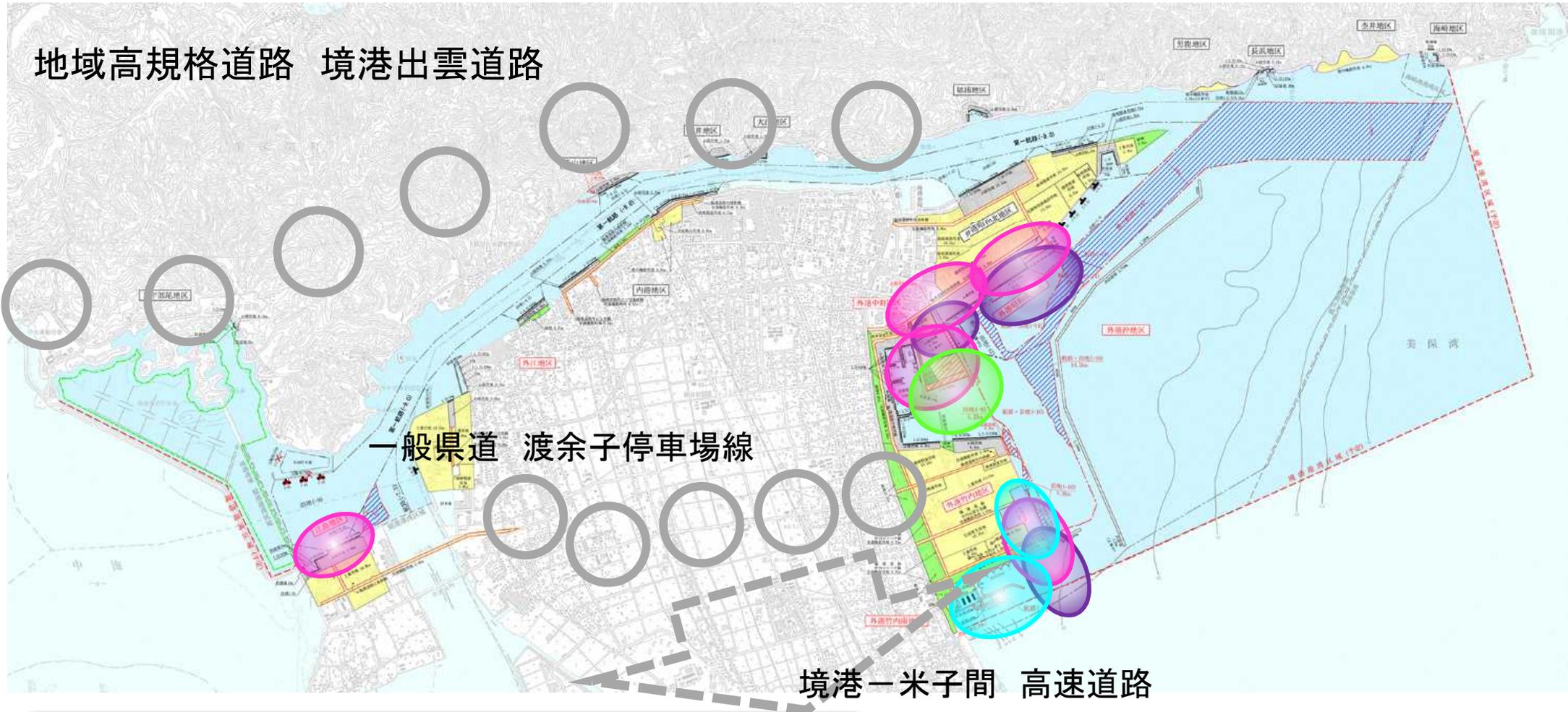
＜物流ゾーンと賑わいゾーンへの対応＞

- ・貨物取扱用地の沖合展開
- ・新規「航路・泊地」の確保
- ・貨物船と客船の輻輳解消
- ・第1航路と第2航路の重複解消

## ■長期：新規航路・泊地の展開

- ・船舶の大型化への対応
- ・タグボートのサテライト基地整備等、船舶受入機能の強化
- ・残土処分用地の確保

# 将来の空間利用：交通



## ■長期：人流・物流の増加に対応した円滑な道路交通網の確保

- ・境港一米子間の高速道路の整備
- ・境港一島根間の道路網の整備
- ・地域内2次交通体制の強化

## ■長期：災害時道路交通網の確保

- ・緊急輸送道路接続幹線路の特車手続きの簡素化